

## 肝細胞がんマーカー評価用の検体収集

### 研究の意義・目的

肝臓がん患者の診断を補助する腫瘍マーカー定量体外診断用医薬品をはじめとした各種がんの将来的なマーカー測定系開発を行う研究です。この研究により、患者状態をさらに正確に理解することが可能となり、肝臓がんの早期診断や、より適切な治療選択への寄与が期待できます。

### 研究方法

肝がん、肝硬変、慢性 B 型肝炎、慢性 C 型肝炎、非アルコール性脂肪性肝炎、胆管がん、良性肝腫瘍、肝血管腫の方の、採血時の保存血清を用いた研究です。血清検体を用いて、各種腫瘍マーカーの測定・解析を行います。年齢、性別、疾患、生化学検査結果についての情報を使用させていただきます。血清はロシュ・ダイアグノスティックス株式会社（東京）に送られ、腫瘍マーカー定量の検査が行われます。また、残った血清は Roche Diagnostics GmbH（ドイツ）に送られ、保存される場合があります。

### 研究期間

近畿大学遺伝子倫理委員会承認後 10 年間（血清検体保管期間を含む）

### 研究機関名

ハノーバー医科大学（ドイツ）、プリンスオブウェールズ病院（香港）、プリンスオブソククラ大学（タイ）、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、Roche Diagnostics GmbH（ドイツ）との共同研究です。

### 個人情報の取り扱いについて

お名前、生年月日、住所など個人情報に関わるデータは一切使用致しません。

この研究は近畿大学倫理委員会、共同研究機関の倫理委員会の審査・承認を得ています。

説明を希望される方は下記にご連絡下さい。

本研究に試料を提供したくない場合はお申し出下さい。それにより、今後の診療等に不利益が生じることはありません。

### <研究事務局および連絡先>

近畿大学医学部内科学教室・消化器内科部門

西田 直生志

TEL: 072-366-0221 (3525)